

つなぐ つながる 新しい物語



名残り雪が村を白く染めた3月29日、草野小学校、飯樋小学校、白石小学校、飯館中学校の閉校式が、飯館中学校体育館で行われました。

式では、遠藤哲教育長が、「地域に愛され、地域と共にあった学校。皆さんの心のよりどころであり、言い尽くせない寂しさがあります。しかし4つの学校は、4月から、義務教育学校となり未来に残ります。4つが1つになる引き算ではなく、これは足し算です。各校が持つよさのかけ算ともなるでしょう」と述べ、未来にバトンを託して4校の閉校を宣言しました。

式の最後には、4校の代表児童生徒が、それぞれの校旗を遠藤教育長に返還し、思いを込めて母校の歴史の最後のページを閉じました。



伝統と思いを引き継いで

三小学校と中学校が一つの学校に

つながり合う教育環境

までのりの里のこども園

「いいたて希望の里学園」と同じ敷地にある認定こども園。さまざまな交流があり、合同の行事にも取り組みます。

4月7日に入園式が行われ、新園長の石川幸男先生が「保護者と園がしっかりとつながり、『までのり』の意味を共有しながら保育にあたります」と園児と保護者を歓迎しました。園では、一人ひとりの子どもに寄り添う家庭的であたたかな保育が行われています。8人の新入園児を迎え、0歳から5歳児、52人が通います。



教育目標

竹のようにしなやかに、すくすくと

いいたてで学ぶ
いいたてに学ぶ

学園の特性を生かした多彩な教育活動を通して、飯館で学ぶ。地域に根ざした実践的な活動を通して、飯館に学ぶ。情操を豊かに育み、自立心を高め、生きる力を養います。

いいたて学
(ふるさと学習)
「いいたてに学ぶ」
を体系的に進めて
いきます。

義務教育学校のメリットを生かす教育活動

義務教育学校とは

平成28年にスタートした新制度。小学校課程から中学校課程までの義務教育を一貫して行う学校です。教育内容の先取りや実施学年の入れ替えなども可能となっています。

◆9年間の一貫した教育カリキュラム

一貫した教育カリキュラムをもとに教職員が連携・協働して多様な教育活動に取り組みます。また少人数教育を生かして「個」に応じた指導を行います。

◆前期課程から後期課程へ 過渡期をスムーズに

前期課程の「学級担任制」から後期課程の「教科担任制」への移行をゆるやかに「中1ギャップ」の解消に積極的に取り組みます。

◆学年をこえた子ども同士の交流

全校生と先生方が一緒にランチルームで作りたての給食を味わいます。他にも縦割りの活動などさまざまな機会を通して子ども同士の関係を育みます。

◆家庭・地域・外部機関との連携

家庭や地域と連携し「開かれた学校」の環境づくりを行います。地域に根ざした活動や、外部の支援による多彩な活動にも、積極的に取り組みます。

◆つながりから生まれる 豊かな教育環境

らせん階段など校内の楽しい仕掛け、いつでも手に取れるたくさんの本、屋内外を彩るアート作品など、心の栄養がたっぷりの教育環境を生かしていきます。